

平成25年度 さぬき市企画事業

「さぬき市ふるさと未来会議」

開催テーマ：住みたくなる、住み続けたくなるさぬき市をめざして

報告書



日時：平成25年9月29日（日）
13：00～16：30

会場：さぬき市寒川農村環境改善センター
主催：さぬき市

はじめに

さぬき市ふるさと未来会議は、今まで以上に住みたくなる、住み続けたいなるまちづくりについて市民の皆さまとともに考えようと、市の最上位計画である総合計画策定に係る市民参画の一環として、基調講演と市民意見交換会の二部構成で開催しました。

開催に当たり広報さぬき等で広く参加を募ったところ、85人（男性45人、女性40人）の市民の皆さまから応募があり、当日の市民意見交換会では参加者自身が選んだ分野のグループで、当該分野ごとに、さぬき市の「ここが素晴らしい」「ここは変えたほうがよい」「今後、こんなことに取り組みばいいのでは？」について、香川大学の学生も交えて活発な意見交換が行われました。

この報告書は、市民意見交換会の進め方をはじめ、全てのご意見を原文のまま小分類ごとにまとめたものです。また、当日の各グループの様子をより理解いただけるよう、別冊として、グループごとの意見集及び参加者アンケート結果集も作成しましたのでぜひご覧ください。

なお、市民意見交換会でのご意見は、次期総合計画の策定や各種施策に活用していくほか、今後、市民の皆さまが自主的なまちづくり活動をされる際の礎になるものと期待しています。

平成25年10月
さぬき市総務部政策課

目次

1	参加者.....	2
2	タイムスケジュール.....	2
3	市民意見交換会の進め方.....	2
4	市民意見交換会結果.....	5
	① 「ここが素晴らしい」と感じているところ.....	5
	② 「ここは変えたほうがよい」と感じているところ.....	9
	③ 「今後、こんなことに取り組みばいいのでは？」と感ずること.....	13

1 参加者

	男性	女性	合計
市民（傍聴者含む）	33人	28人	61人
香川大学生	5人	7人	12人
市職員等	11人	1人	12人
計	49人	36人	85人

2 タイムスケジュール

1 開会 13:00

2 主催者挨拶 13:02

3 基調講演 13:05

演題：「魅力あるまちとまちづくりへの思い」

講師：徳島文理大学名誉教授 中島 賢一郎 氏

4 市民意見交換会 13:55

5 閉会 16:30



3 市民意見交換会の進め方

市民意見交換会は所要時間2時間半程度であり、ガイダンスや発表などを除く自由な議論の時間は80分程度でした。自由な議論を促進するため、グループリーダーと書記の役割を、各グループ1名ずつ担っていただきました。

・タイムスケジュール

時間	項目	概要
13:55～14:00	(1)ガイダンス	・会議の趣旨と実施方法の説明 ・ファシリテーター（研究員5人）及び会議補助メンバー（香川大学生12人）の紹介
14:00～14:05	(2)アイスブレイク	・鼻・耳つまみ

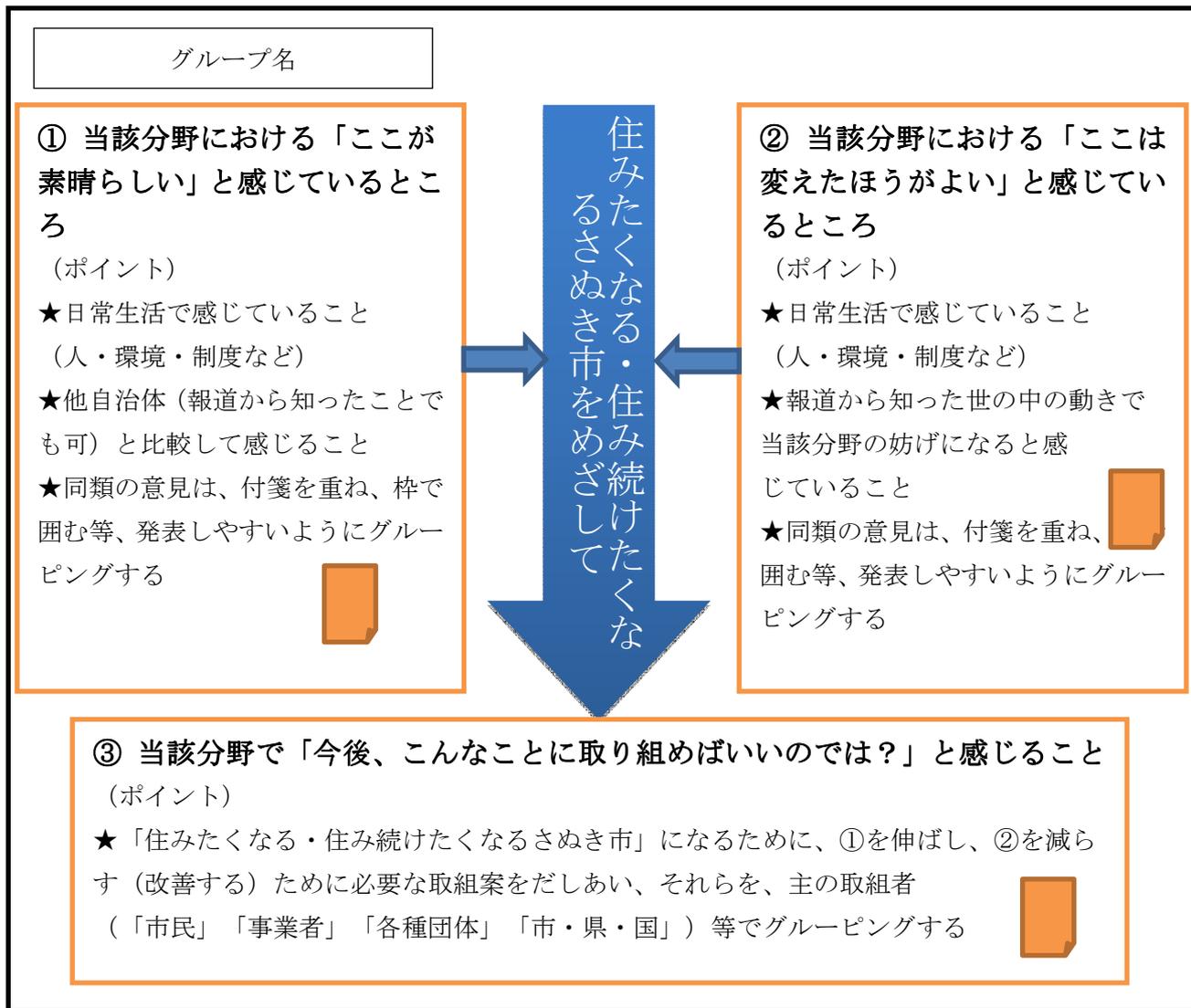
14:05～14:15	(3) 自己紹介	・各グループ内で自己紹介（1人1分程度：名前、基調講演の感想、最近特に気になるニュースなど）
14:15～15:35	(4) 意見交換	・グループリーダーを中心に模造紙に意見の貼り付け ・グルーピング
15:35～15:50	(5) 発表準備	・リーダーが発表するに当たり、意見を整理してグループ内で確認
15:50～16:30	(6) 発表&講評	・1グループ2分以内でグループリーダーが発表 ・大山市長、中島氏から講評

・グループ名及び人数（市民参加者のみ）

	産業 ①	産業 ②	福祉 ①	福祉 ②	福祉 ③	地域 活動 ①	地域 活動 ②	地域 活動 ③	教育 ①	教育 ②	教育 ③	公共 施設 ①
人数	6	5	5	4	6	5	5	5	5	6	4	4



・話し合う順序と内容のポイント



進行役のグループリーダーは、メンバーの意見を引き出し、書記が書きやすいように意見をまとめてください。出た意見をグルーピングしながら、進行してください。



書記(大学生)は意見を付箋に書き(なるべく理由も書く)、模造紙に張り付けてください。(一つの意見は一つの付箋にしてグルーピングしやすいように)

※ 意見が多く出て書記の作業が間に合わない場合は、協力して書き込んでください。

オリーブはまちなど、まだ県外に広まっていない特産物がある

A

特産品づくりも必要だが、ここだけしか食べられないといった希少価値を生み出すことも必要

B

オリーブはまちを伝えるホームページを作るべきだ。まずは有志を募るべき

C

4 意見交換会結果（小分類掲載）

① 「ここが素晴らしい」と感じているところ

【食・農業】
<ul style="list-style-type: none">● 農工関係が進んでいる(希望も含めて)● 土地(地価)が安い● 農産物が豊富● 機械産業が強い● 食材(魚)がおいしい。● 物価が安い(神戸・大阪より)● 風景● 夕日● 田植え後（昔）カンカン寿司

【自然・文化】
<ul style="list-style-type: none">● 自然に恵むと所。人々の心がおだやか● 五町をさえぎるものが(山、川)など少ないはず。● さぬき市には志度寺、長尾寺、大窪寺が在寺している。● 志度湾 良・景色・資源● 東かがわ市はイベント等催し物がさぬき市より多く、マスコミが取り上げている。● テアトロン・雨滝自然科学館、音楽ホールなど、素晴らしい施設がある。● お接待文化が根付いてる点。● 空気がきれい● 古墳が多い。● 文化財が多い。● のんびりした田園地区である。● ふれあいサロン、いききネット、月1～3回● 市民病院による訪問看護サービス● 自然が多い・里歩き● 88 ウォーク● お正月の（年越）津田神社のお接待● 大師山の火まつり● 志度の多和神社の秋祭り、ちょうさ● 造田神社、釜鳴り神事● 宇佐神社の句読み● おもてなしの習慣・文化



- お遍路のお寺が3つある
- 古墳が多い
- 歴史がある
- 文化活動が多い
- 歴史的文化財が多い
- 伝統的行事
- 八十六、七、八上り三ヶ寺がある。
- お接待
- 自然にめぐまれている
- 古墳
- 自然が良い。青緑が素晴らしい
- 文化財が多い
- 四国一の前方後円墳

【観光】

- 観光
- 観光名所がたくさんある
- 津田の松原
- 軒原庄蔵
- 竹林上水
- 平賀源内
- 大串半島公園
- 古墳
- 上り三ヶ寺はほかの地区にはないから素晴らしい
- 望遠鏡博物館が出来る

【災害】

- 災害が少ない。
- 災害時に安否確認できている。
- 避難対策ができていっところもある。

【子育て】

- 子育て支援サービス
- 保育施設の充実
- 市民病院による病後時保育
- 地域の中で育てている子供の方が積極的

【高齢者・見守り】

- 若い人に伝統がひきつげている。
- ふれ合いサロン
- 近所付き合いが密。
- 安全安心カード
- 商業施設の優先駐車場
- 老人ホームたくさん(中身の充実がピンキリ)・介護ホケン料
- お年寄りとお年寄りつながり
- お年寄りと子供つながり
- 老人が多い(特に大川町、寒川町)
- シルバーの方が子供の登下校を見守っている
- 老人大学をしている

【交通】

- コミュニティバスの縮小化(デマンド化)
- 高速バスで県外に行ける。

【市民活動・イベント】

- 継続的な市民活動
- 市民のボランティア
- 楽しんでボランティア
- 市民が手弁当で活動
- 自治会活動
- 地域のつながり
- リーダーの存在
- イベントがあるところ(地域ごとに)
- 気持ちがわくわくするようなイベントがある
- みろくの夏祭り、南川自然薯祭、造田
- どじょリンピック
- かぐや姫カーニバル
- ボランティア団体が多い?



【暮らし】

- コンパクトで利便性がある(志度)
- 自然(空気・海)
- 災害が少ない
- 便利
- 田舎の良さがある
- 住みやすい

- 治安が良い
- 海や山など環境が良い
- 住めば都
- 気候風土が良く住みやすい。空気がきれい。

【教育】

- 大学がある→若い人が集まる。活気がある。
- 大学の図書館を利用できる。
- 小、中学校の入院費の補助
- 家庭教育に力を入れている。
- 大学もあるので土地に残る子を作れる
- 高校も利用する

【その他】

- 教育やまちづくりに力を入れる企業が多い。
- お接待の心がある
- 合併後、交流が以前より増えた
- 文化を次世代へ伝えていく努力をしている
- 文化が豊富
- 市役所の職員の対応が良い
- あいさつをよくする。
- 固定資産税を半額
- 子ども未来会議
- リフォーム助成
- 讃岐山脈から瀬戸内まで続くこの地はほかにはないだろう
- 人と環境



② 「ここは変えたほうがよい」と感じているところ

【合併】

- 五町の連係が少ない。
- 市中心地が志度町で、市の端にある。
- 旧5町合併後の交流が乏しい気がします。
- 市役所がかたよりすぎている。
- 市全体の行事が乏しく、旧町のままで実施されている。
- 旧5町のままでの活動が多くさぬき市としてまとめられてない。
- 地元への関心が薄い。交流が少ない。
- 旧町時代の個性が強いかも？
- 5町で集まって行うイベントがない
- 花火も5箇所でするより1箇所でやった方が良い！？

【経済】

- さぬき市には大企業が少ない。
- 情報発信力が低い
- 財務状況が悪い。
- 労働力不足？安易で安価な外国人労働者が増。
- 農業関係の市からの女性対策が悪い。
- 商品券の使用店が少ない。多くの人が購入できない。
- 駅前の商店街が歯抜け化。さびれている。
- 障害者の雇用の場がない
- 精神障害者、知的障害者の雇用
- 雇用の問題
- 産業の衰退
- (スーパーなど) 商業施設が少ない
- さぬき市の雇用拡大
- さぬき市で働くところが少ない

【食・農業】

- 農家の高齢化がひどくて、担い手が不足。集落営農ができるよう共同作業。
- 地産地消を持って、積極的。
- 伝統・食文化のアピールが少ない

【自然・文化】

- 田・畑をつぶし、スーパー等商業施設がどんどん新しくでき、自然破壊がすすんでいる。

- 川の整備が悪い
- 山の手での大型ゴミが多い。
- 文化財を見せる場所が少ない。

【観光】

- 宿泊施設が少ない
- 温泉が多いが特徴がない。
- 大きな展示会場がない。例（高松）
- 県が出資するような大きな施設がない。
- シンボリックな施設がない。

【災害】

- 昔は、災害時に協力して、炊き出しをしていた。今はない。
- 災害情報を出すのが遅い。
- 避難場所、そこまでが危険。
- 避難した時の連絡の有無。
- 防災活動の担い手が少ない
- 役員や自治会長の責任が重くなってきている。
- 防災の研修会の頻度が少ない

【子育て】

- 山の中に子供の遊び場が少ない
- 赤ちゃんを持つ母親のグループがなくなり、活動休み。
- 児童虐待、DVに対する制度
- 放課後児童クラブなどのきそくが厳しい
- 誰が子供をみるのか（学校が終わった後）

【高齢者・見守り】

- 家族で介護(難しい)
- 開かれたデイサービス施設ほしい。・コミュニケーション向上。・手軽さ
- 小さい地域をカバーするデイサービスがほしい。※費用問題
- ボランティアの方の年齢が高い（メリット・デメリットがある）

【医療】

- 入院施設の不足。
- 医師不足
- 市民病院、医師の態度
- 市民病院への予算が少ない

【交通】

- 交通マナー(特に飲酒運転→ワースト 1)
- 80 歳以上の運転。
- 道路などのインフラ整備不足
- 道路のライン、薄い所もある。(目の不自由な方とか不便)
- コミュニティバスの運行について・本数が少ない・市の負担が大きい (バス一律 100 円)
- 公共の交通機関が充実していない
- 公共交通機関が発達していると人が住む、集まる。さぬき市は便利ではない
- 交通アクセスが悪い (JR、バス)

【市民活動・イベント】

- 祭・イベント参加者が減っている。
- 孤立住民状況把握目的の地域会議
- 共助が(少)ない。自分で頑張ってしまう。(一人で)人が多い?
- イベントが重なっている
- 町内会の横のつながりうまくいってない
- 世代交代がうまくいってない
- 助け合う心がうすい
- 協調性があまりない
- 人と人の接点が少ない
- コミュニケーションが取れない子が多い
- ボランティア派遣の仕組みを確立するべき。

【暮らし】

- 若い人の遊ぶところがない。
- 粗大ゴミを捨てるシステムが悪い
- 新しく入ってくる人が少ない
- 空き家が多い (家にさるやいのししが出る)
- 空き巣が増えた

【教育】

- 小中廃校で若い人が少なくなる地区がある。
- 学校の統廃合 未来の話だから興味が薄い
- 学校のない街に住みたいと思うか?
- 保護者、学生は納得しているのか
- 私立中学への進学者の増加→地元中学の学生減少
- 子供が減ると教師も減る
- 子供 減 クラブ 増 チームが作りきれない

- 権利ばかり主張している・義務が果たせていない
- 親のクレーム
- 親の常識がない
- 大人のモラル常識の欠如
- 子供を甘やかしてすぎている。(兄弟が減った)
- 教育関係にお金を入れて欲しい
- 学校の統廃合の余波
- 大人と子どもが対等に会議を行える環境を整えるべき
- まわりにふり回されない
- 若者の意見が尊重されづらい。
- 個別教育を改善すべき
- その結果郷土愛がうすれ人が出て行ってしまう。
- 田舎と都会の差が大きい。選択がない
- (例) 部活動の選択肢が少ない
- 1クラスだと競争心がない
- 統合で校区が広がるだけ
- 公園がない
- しかたがないでガマンしている
- 小学校などの廃校後の施設利用
- 子供にさぬき市を伝えるような施設がなく。また教えていない。

【その他】

- 予算のバラ巻き
- 市全体で政策の統一
- 障害に対する行政(市)の対応
- 現状に対する行政(市)の認識不足
- 市民のニーズに対して行政(市)がにぶい
- 障害者に対する偏見
- 自分たちの世代のことのみ考えている。
- さぬき市全体の目玉がない
- 観光客・住人に対するの対応
- 施設に偏りがある
- 情報発信が少ない
- PR方法を考えるべき
- 志度のあるお寺がすごく汚い
- お金はかかるが市で管理するべきではないか (お寺)
- さぬき市の魅力を伝えてない
- お接待が希薄になってきている。
- 市の中での格差



- 伝統的なことに対する柔軟性。
- 昔にこだわらず新しいこと、若い人の意見を聞こう
- たて割りでなく横につながりを持つこと大切
- プロモーションが下手
- さぬき市の良いところを宣伝する必要がある
- 少子高齢化対策
- 子供を産みたくなくなる様なさぬき市に

③ 「今後、こんなことに取り組みばいいのでは？」と感ずること

【合併】

- 旧町間の温度差を改善する。
- 対等な立場で意見を出せる環境作り

【経済】

- 高速ネットワークの商業利用。
- 工業地へ大きな会社を誘致すれば多くの税金が落とされる。
- 流通基盤の整備。
- 地元企業の地元民への PR
- 企業間、漁業、農業者の連係『目標の共通化』
- 商品券を生かす。(地元商店を生かす方法を講じる。)
- 農業・漁業だけでなく、新規産業を作ろう！ex：徳島、上勝、神山・もみじー山
- IT(東京からの)(上山)海南
- 家までもしくは配達。
- 仕事（若者）をする場所、支援
- 若者でも興味をもつようなおしゃれな場所を作る。

【食・農業】

- さぬき市全体で、農業法人が 9 地区あります。この法人の活性化を図る為にも、交流会、研修会を実施されたい。
- ・農業の活性化・法人化の推進
- イノシシ(ポタンなべ)
- 夕日サミット(例)

【自然・文化】

- 市で（全体で）文化活動（旧 5 町ではなく市）
- 地元の歴史について、市民がもっと知るべき
- 語りべボランティアの導入→理解が深まれば、情報発信もしやすくなるのでは？
- 有名な画家などが展示できる展示場→新しい魅力を見つけられるかも！
- 実際に芸術に触れたりすることで刺激を与えることのできる施設。→廃校を利用（自由に出入りできる）

【観光】

- 八十八ヶ所の 1 番と 88 番のつないだコース。
- 86、87、88 番のお寺全体の一体化（市民意識）

【災害】

- 防災に対する意識を高める養成講座
- 防災にあたって各自治会の備品を充実させるべき

【子育て】

- 親子サロン 高齢者の経験を活かしてもらう。
- 子育て環境の改善

【高齢者・見守り】

- 見守り活動を市民で。
- 元気な高齢者の活用。
- 高齢者の体づくり
- 役割を持たせる。ぞうきんとか・・・しめなわ→収入につながれば、もっと良い。
- 引きこもりがちな人々にも様々なタイプが存在⇒それぞれに応じたデイサービス必要
- それぞれの地域を調べ、その地域に応じたデイサービスの内容・規模
- 男性向けデイサービス(個人の趣味を活かせる・・・)
- シルバー人材センター 高齢者の就活、あっせん、民間が人材活用
- 一般の人がわかるように、どんな高齢者がいて、何ができるか(特技など)情報が欲しい
- 現役世代に加え、シルバー人材を活かす！

【交通】

- コミュニティバスは、利用されていない路線の廃止。
- 神戸、大阪を中心とした都市からのバス代の補助金(例：うどん)例：ゴルフ場、安くですいている。
- 買い物をする際、交通の便を改善 例：買い物バス

- コミュニティバスでカバーできていない。(土、日ほとんどなし)
- コミュニティバスの経路再確認
- コミュニティバスの高齢者の無料化
- コミュニティバスのダイヤの見直し (市民の足になれるような)
- 駐車場の無料化
- 交通アクセスをよくする。主要施設へ

【市民活動・イベント】

- 5つの旧地区が1つになって「さぬき市」として今後イベントなどを行う。交付金(市として)
- テアトロンなどを有効活用する。(映画撮影の場所へ誘致する)
- 働きさかりの意見をききたい。→語り合う場作り。
- テアトロンのイベントの継続化。志度音楽ホールと連携。
- 例：おもてなし マラソン大会・トライアスロン開催する。(ex:おへん路他サイクリング、マラソン)
- 中・高生が集まる場所が欲しい。(民間活用も含めて)
- 赤ちゃん、お母さん、高齢者集える多世代交流
- 山の中にある古い空き家の活用法→集会所、宿
- 地域の人が集まれる場の確保 (施設の有効活用)
- イベントを開催。他市、県へのアピール
- 交流する場、繁度をふやす
- ○○○の会を作る。ふれあいの場
- 女性の集まる場
- 女性が前に出やすい環境づくり
- 自治会のリーダー育成→引継ぎの徹底
- 若者と高齢者のコミュニケーションの場づくり→市がある程度関与して

【暮らし】

- 若者の意見を取り入れる
- 気軽にあいさつをできるように！
- 空き家の活用

【教育】

- 子供が地元の企業・農業・漁業で働きたいと思う教育を！
- 廃校になった校舎を、市民のふれあいの場に。
- 廃校を利用した宿泊施設
- 大学とか講座。PRする。宣伝がたりてない。集客をはかる。
- 親のサークル・相談・遊び・教育
- ボランティアの力をもっと活用する。

- 土曜授業をする。
- 大学をもっと利用してもらおう。
- 若い人が参加できるサークルを作る。
- 徳島文理大と協力する。
- 若い人に参加してもらおう。(玉浦大学のようなもの)
- 土曜授業
- 小中学校の連係
- 質の高いゆったりした教育
- 小中 30 人学級
- さぬき市の学校再編は再考すべき
- 小中連係、中高一貫も考えてみよう
- 学校施設などの空室を地域の趣味とか年令とかの部屋が欲しい
- 孫の教育 祖母、祖父があって自分のあることを教える。家族で教える。
- もっと子供にお金を使うべき
- 人口を増やすための対策が必要
- 老人よりも子供にお祝いをしよう
- 地元大学生（文化財学科）とのコラボレーション
- 子ども達がさぬき市を誇れるような施設を作る。

【その他】

- 予算や(事業)選択と集中を行う。活発化、モデル事業を作る。
- 志度駅前にシンボルが必要。
- 小型電気のリサイクル活動。
- シンボルが欲しい(ex : 志度駅前)
- 婚活をして少子化をくいとめる。
- 引きこもりがちな人々をどう外に出すか？(交流を持たせるか)
- 意識改革の手伝い（まずは強制的に）
- 補助金を出すのも一方法
- 後継者の育成
- ふる里の良さを後世に
- 世代交代
- 家庭内での伝承
- 市で“おもてなし”を管理する（寺の設備など）
- 特区を考える
- 官民を組み合わせた新たな仕組みを作る
- 上り三ヶ寺は世界遺産にもなるかも？お接待の心でがんばろう
- 公務員、J A、銀行など地域で頑張った人は第 2 の人生に奉仕して欲しい
- さぬき市の魅力発掘
- さぬき市のオリジナルを

- NHKで宣伝すること
- 市の財産を上手に活用する。人・物・自然
- 産官学で古墳、文化財を活用する
- 教育活動と地域振興、観光振興と結び付ける
- さぬき市の魅力をもっと多くの人々が知ることができる。
- 場所（施設）をつくる。
- さぬき市をPRできるように宣伝、施設整備
- いろいろな施設を1つにまとめてコンパクトに！
- 環境に配慮した素材、デザインで統一した看板作り
- 寒川の伝統銅器（遺産）を広めたりする施設を作る。
- 金の使い方をより明確にして市民との意見交換で効果的にムダ使いを止める
- 大学生など、里帰りの人々の知恵を仕入れる

